


学位取得者をはじめとする
専門職員による文化財調査支援



 株式会社九州文化財研究所

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目 32番 19号
TEL : (096)381-2267 FAX : (096)381-2299
E-MAIL : webmaster@kyubun.sakura.ne.jp

URL : kyubun.sakura.ne.jp

九文研 検索

九文研 公式ツイッター



ごあいさつ

九州文化財研究所の代表取締役会長である徳永和人は、先祖の徳永尚玄が行った地域文化の保存活動への強い感銘と地域文化財の保護に貢献する組織を作りたいという思いから平成5年に当研究所を創業しました。当社はこの創業理念の下、埋蔵文化財の発掘調査をはじめ、出土遺物の整理、古文書等の史料解説、博物館展示資料制作など、文化財を総合的にプロデュースできる企業へと堅実に足元を固め活動の幅を広げてきました。

当社の最大の強みは専門性の高さです。博士号取得者が3名、修士号取得者9名、博物館学芸員有資格者15名と各分野・各時代の文化財に精通するスタッフを揃え、包括的な文化財調査ができる体制づくりを目指してきました。また、最新鋭の赤外線カメラや3Dスキャナ・マイクロスコプをはじめとする調査機材の導入にも重きを置いています。今後も学術・技術の両面から業務の信頼と実績をさらに積み上げ、地域の文化財の保全と活用の一翼を担って参ります。

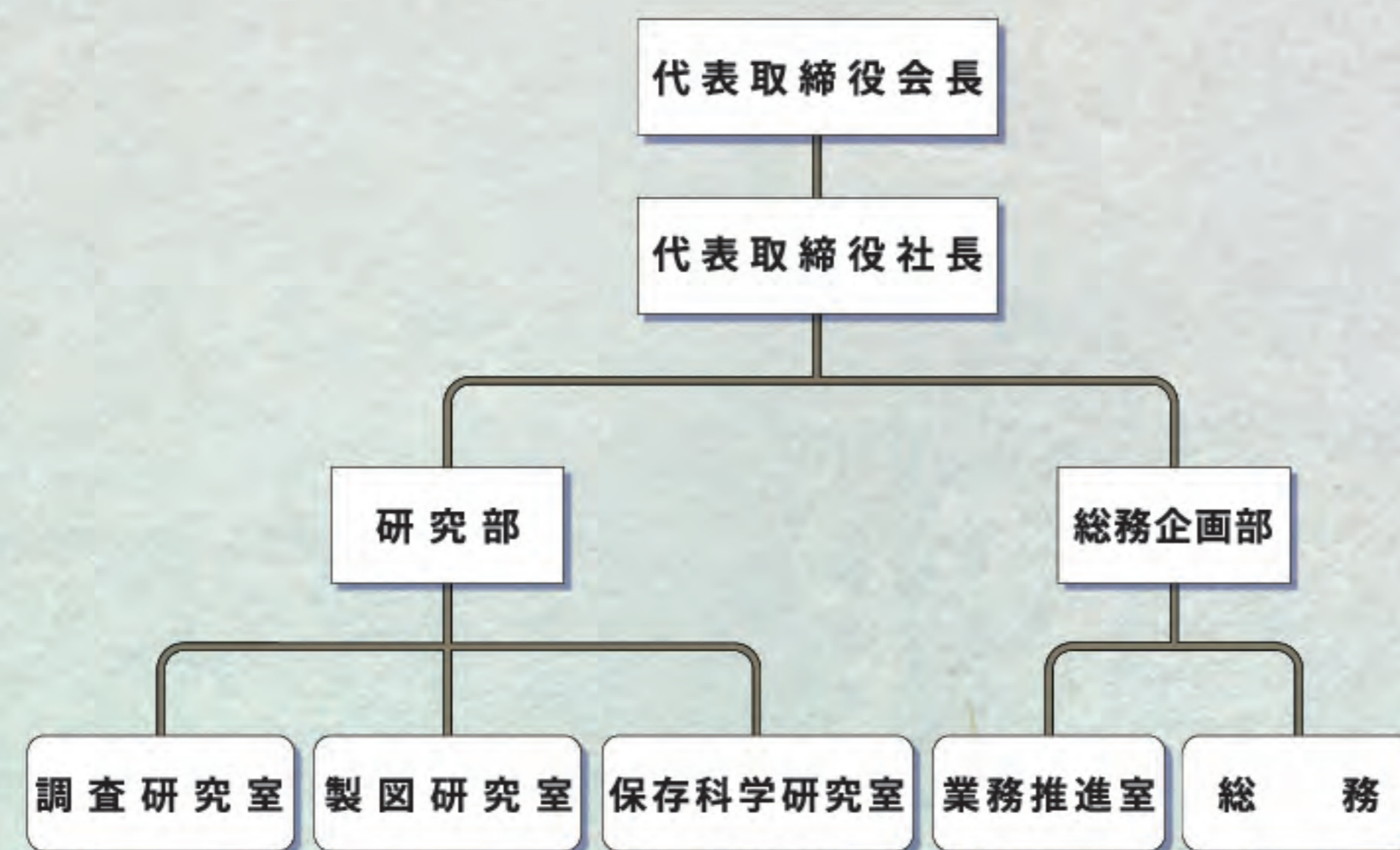
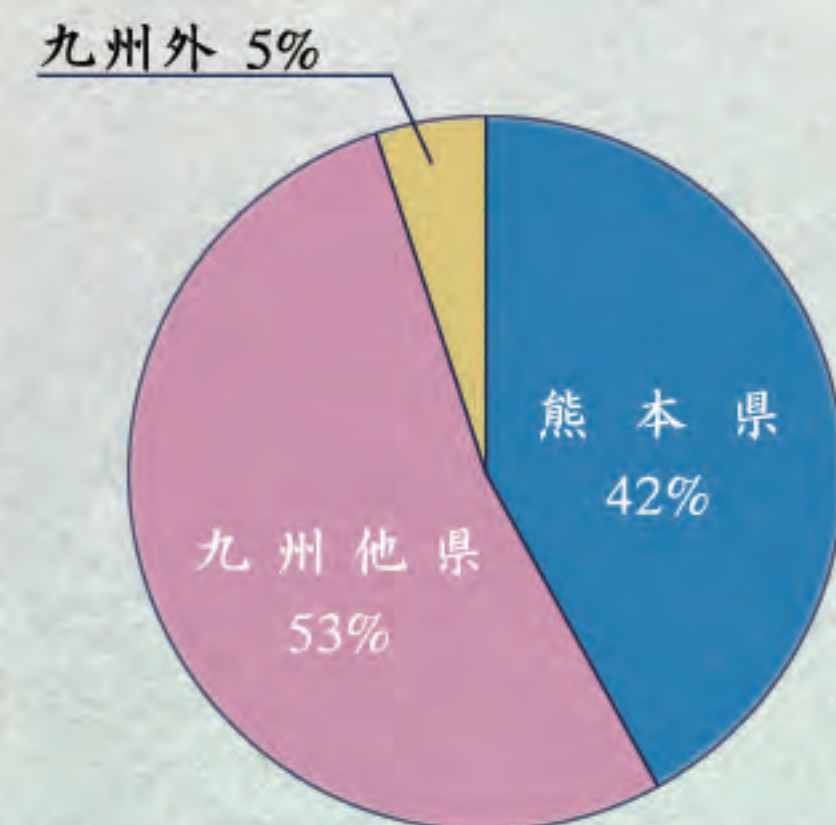
九州文化財研究所 代表取締役社長



真崎 伸一

経 歴

早稲田大学法学部卒業。1981年熊本県庁入庁、2012年商工観光労働部長などを歴任。2015年7月に熊本県信用保証協会長に就任。2020年8月に退任後、2020年9月から現職。



企業概要

名 称	株式会社 九州文化財研究所
代 表 者	代表取締役 会長 徳永 和人 / 代表取締役 社長 真崎 伸一
資 本 金	10,000 千円
所 在 地	本 社 : 〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目32番19号 八 代 営 業 所 : 〒866-0815 熊本県八代市長田町 3477-9 鹿 児 島 営 業 所 : 〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田 1799-2 長 崎 営 業 所 : 〒850-0003 長崎県長崎市片淵2丁目 8-8 四 国 営 業 所 : 〒763-0074 香川県丸亀市原田町 1733-1 佐 賀 営 業 所 : 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園5丁目 5-26 福 岡 営 業 所 : 〒832-0826 福岡県柳川市三橋町高畑 261-2

沿 革

- 平成 5 年 12 月 20 日 有限会社 文化財環境整備研究所 設立 (資本金 500 万円)
- 平成 7 年 10 月 30 日 測量業者の登録 (登録番号第 1-23532 号)
- 平成 9 年 12 月 6 日 株式会社 文化財環境整備研究所に組織変更設立 (資本金 1,000 万円)
- 平成 14 年 2 月 1 日 本社移転と株式会社 九州文化財研究所に名称変更
社屋を熊本市神水 1 丁目 32 番 19 号に移転
- 平成 15 年 10 月 20 日 鹿児島営業所開設
- 平成 18 年 3 月 16 日 長崎営業所開設
- 平成 21 年 3 月 25 日 八代営業所開設
- 平成 30 年 6 月 1 日 四国営業所開設
- 令和 元年 9 月 2 日 佐賀営業所開設
- 令和 2 年 7 月 10 日 福岡営業所開設

業 務 一 覧

- (1)文化財部門の業務**
主力業務: 試掘調査・本格調査
その他: 遺物整理・遺跡環境変遷解析・報告書作成、遺跡関係測量一般、自然化学分析(石材・土層分析)、土器復元・修復、保存修理等
文化財保存修復、史跡整備設計・監理、古文書等の史料解説・分析、博物館・資料館等の展示補助、イベント等の公開事業、文化財関係書籍編集・印刷、文化財を中心とした観光案内書作成、文化財のデジタル処理、文化財関係の出版事業、共同研究(大学・研究機関)、新技術による保存処理(木・石・金属)、寺社等の総合的調査(建築・仏像・宝物・古文書)、大名墓をはじめとする墓所調査、文化財関係の通訳、展示キャプション作成(英語・韓国語・スペイン語)
- (2)研究活動および研究助成**
学位取得者(博士・PhD)の派遣及び学際的な研究補助、講演・講義等の講師派遣、学術誌や各自治体史の執筆および資料作成、競争的研究資金(科研費)獲得のための研究代表者派遣
- (3)文化財部門以外の業務**
一般測量・設計業務

発掘調査

博士号取得者が専門知識と技術・経験を基に遺跡を深く把握し、考古学だけでなく地質学や歴史学などの専門職員が遺跡の形成過程から立地や歴史的背景まで考え、より真実に迫る情報を引き出します。

発掘調査 遺構の検出・精査・認定、労務管理

発掘調査の全工程を安全かつ円滑に運営します。全面委託調査はもちろんのこと、現場の状況に応じて部分的な作業にも対応します。全面委託調査では表土剥ぎから遺構の検出・認定・掘削を各分野の専門知識を有する職員が調査します。



麦島城跡 二の丸発掘調査（熊本県八代市）

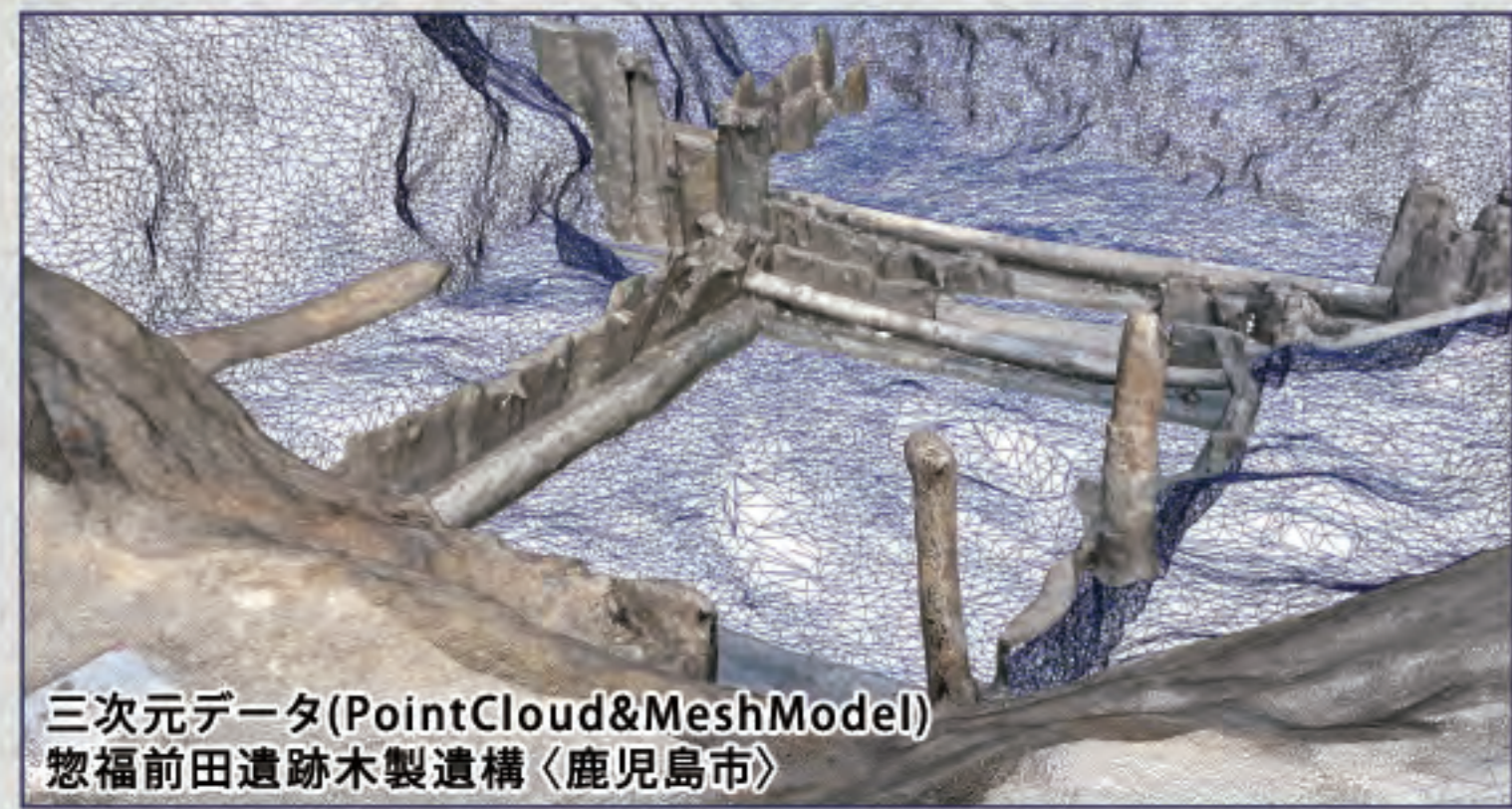
記録調査 遺構の高密度点群化

フルサイズセンサーの高精細画像によるSfM/MVS写真測量、地上レーザー・LiDAR・産業用ドローン等を使用し、対象にあわせた三次元データを作成します。これにより、限られた調査期間から記録に費やされる時間を大幅に短縮することができ、一度の計測で多くの成果を得ることができます。

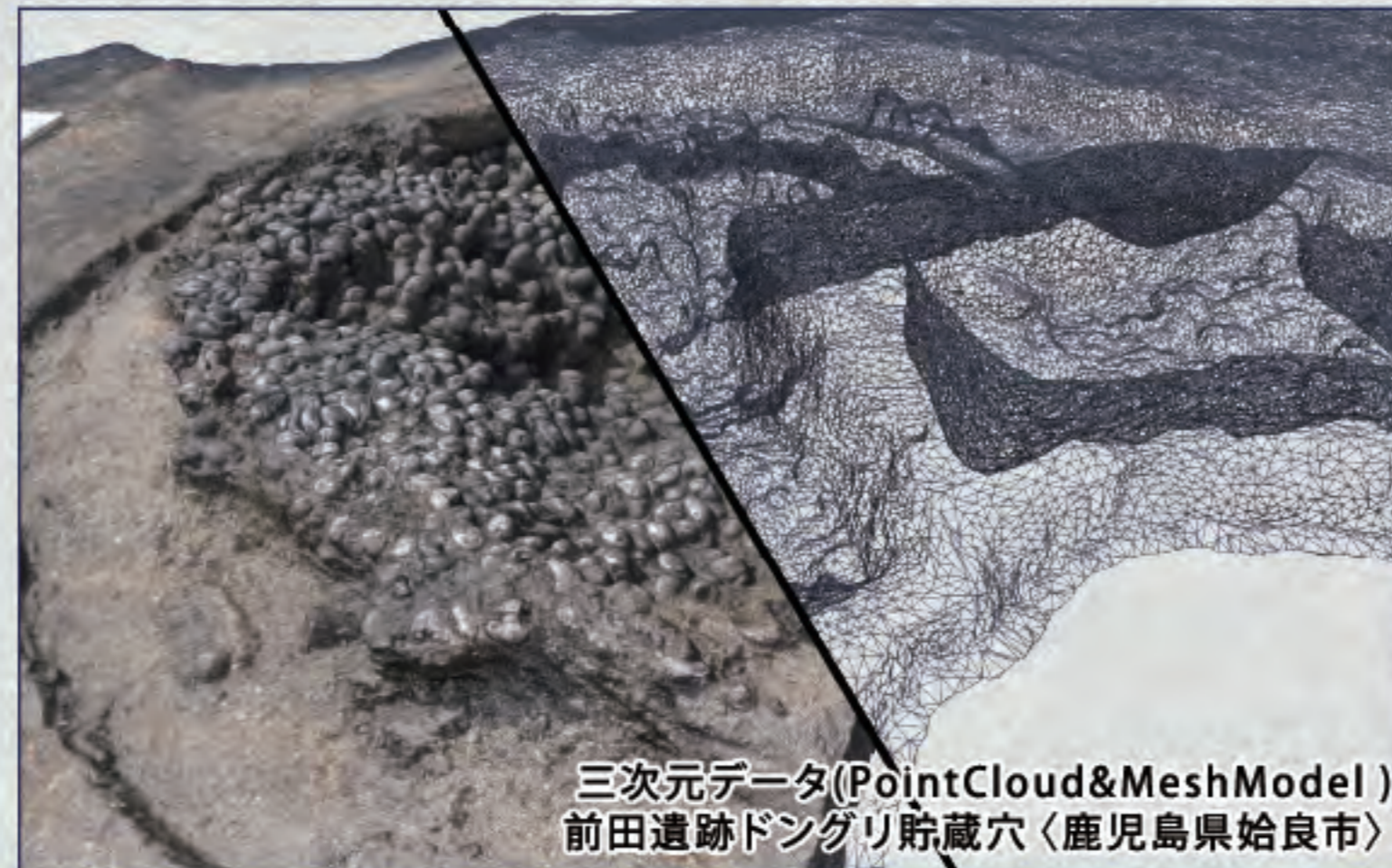
複雑な遺構・広域な対象であっても、公共測量の作業規定に準拠した厳密な標定測量を実施し、再現性をもつ均一な記録精度を担保します。また図化も簡易的なオルソ画像からのトレースではなく、高密度点群からの座標に基づく図化を行い、考古学的解釈を含めた調査成果を反映させます。

遺構の点群化により、調査状況そのものを記録します。取得した三次元データを基に、検討・追加図化・再作図も可能です。点群データはご希望の形式・多様な中間データと共に、計測可能な点群ビューアーを含めた納品にも対応します。

記録の基となる公共座標値の取り付けも行います。従来の方法では対応できない現場でも GNSS・RTK・VRS 測量等により即日可能です。



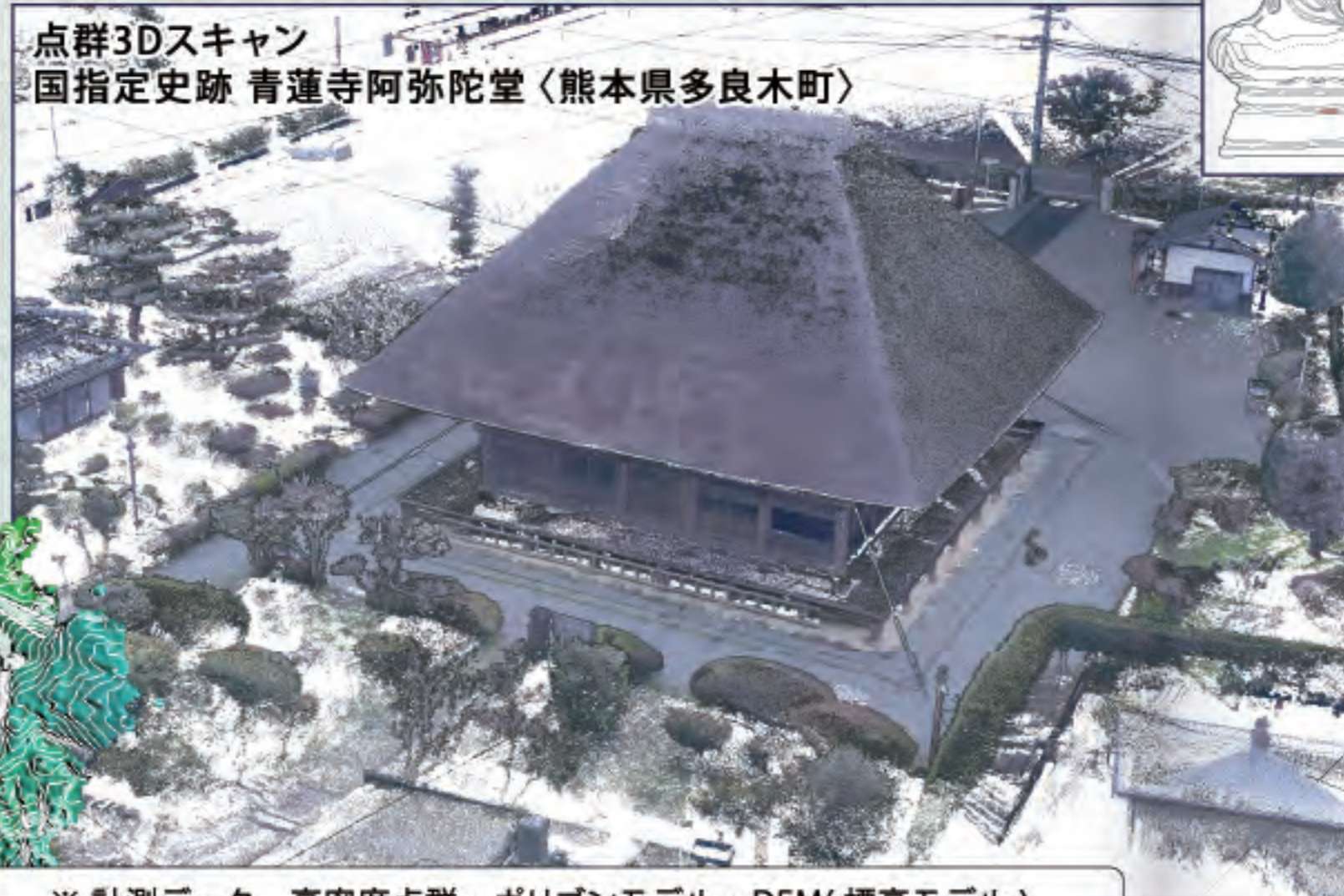
三次元データ(PointCloud&MeshModel)
惣福前田遺跡木製遺構（鹿児島市）



三次元データ(PointCloud&MeshModel)
前田遺跡ドングリ貯蔵穴（鹿児島県始良市）

空中写真撮影と高密度点群化

産業用ドローンによる安定した空中写真撮影を行います。また、従来の完掘写真だけでなく、同時に撮影対象を点群化します。得られたデータは調査時の記録にとどまらず、その後の継続した調査研究や、保存活用・史跡整備など様々な利用が可能です。



点群3Dスキャン
国指定史跡 青蓮寺阿弥陀堂（熊本県多良木町）

ドローンによる調査区全体の点群化
本村居館跡（熊本県荒尾市）

(DEM/等高線)
保が島古墳（熊本県上天草市）

※ 計測データ 高密度点群・ポリゴンモデル・DEM(標高モデル)
点群オルソ画像・オルソモザイク等

整理業務

遺物整理 多種多様な整理業務に対応

遺物の洗浄・注記・接合・復元までの煩雑な整理作業を支援します。



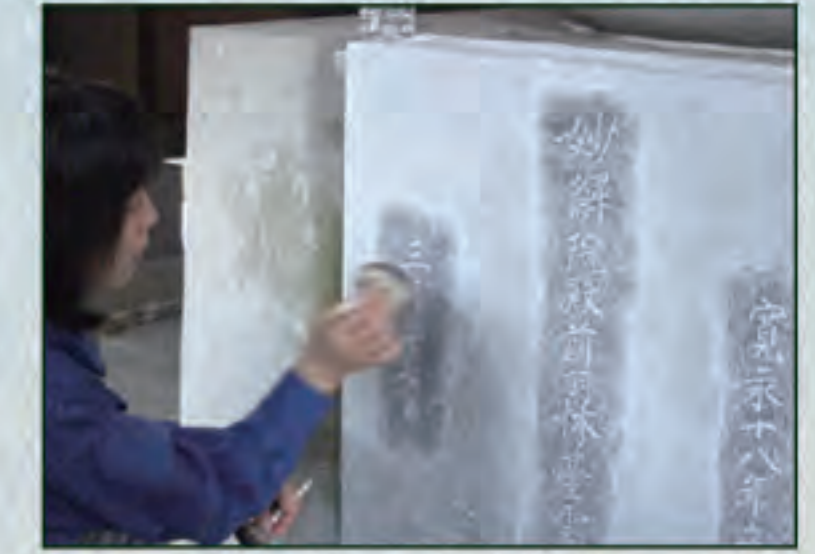
出土遺物の洗浄



遺物注記(手書き)



遺物復元



墓石調査 拓本作業
細川家墓所 妙解寺（熊本市）



注記マシンによる注記



遺物接合



拓本作業

遺物図化 あらゆる時代のあらゆる遺物に対応

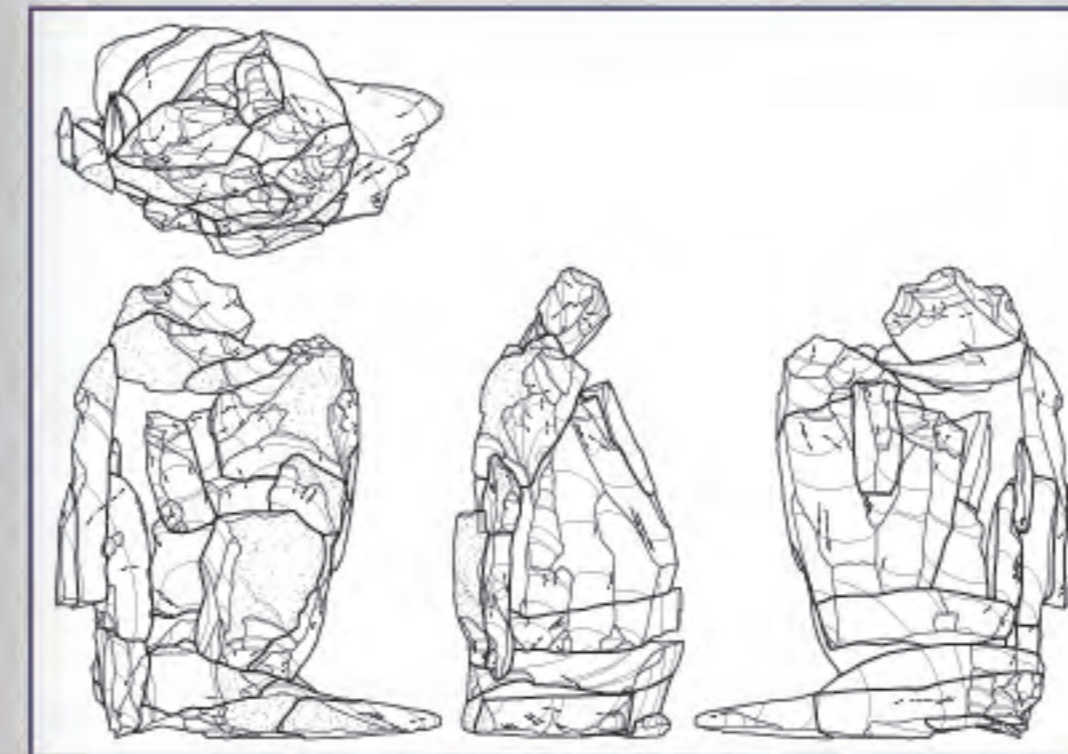
多様な図化方法で効率良く迅速に専門職員が全図面を校正し、表現や見解を統一します。

石器実測 手測り実測を基本とし、3D計測機器や写真図化機器を用いて効率的に図化します。これにより高い整合性と統一された表現が可能です。接合資料や石核など実測面数が多い図化は当社の強みです。

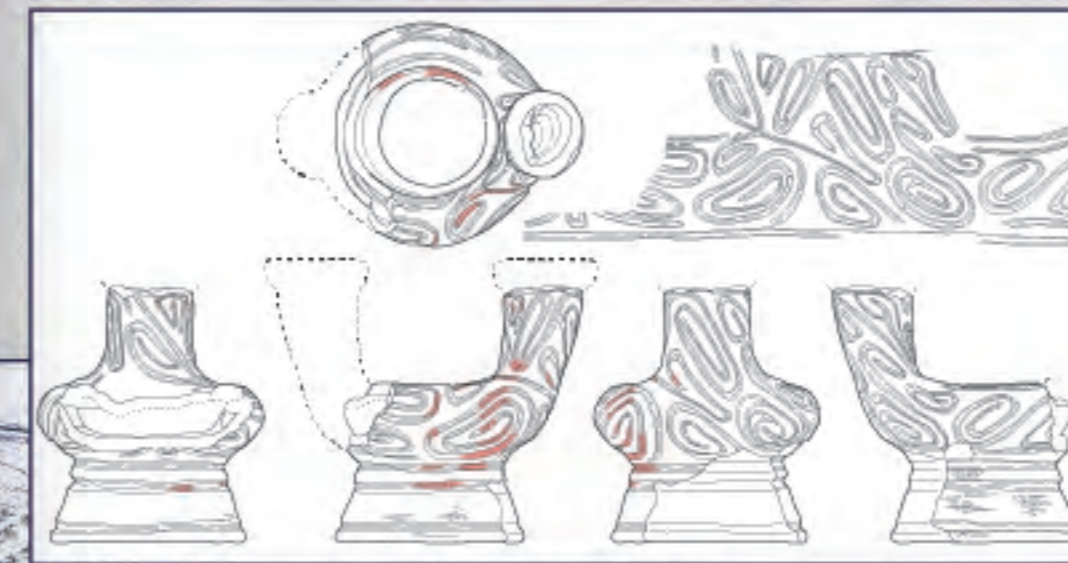
土器実測 縄文土器の複雑な文様をはじめとして、あらゆる種類の土器を図化します。大きな甕から破片まで、立面図だけでなく文様に応じた様々な展開図を作成します。

トレース デジタルトレースまたは製図用ペンを使用したトレースと幅広く対応します。

遺物写真撮影 報告書掲載用の遺物写真や陶磁器実測図へのはめ込み用写真を社内スタジオで撮影します。



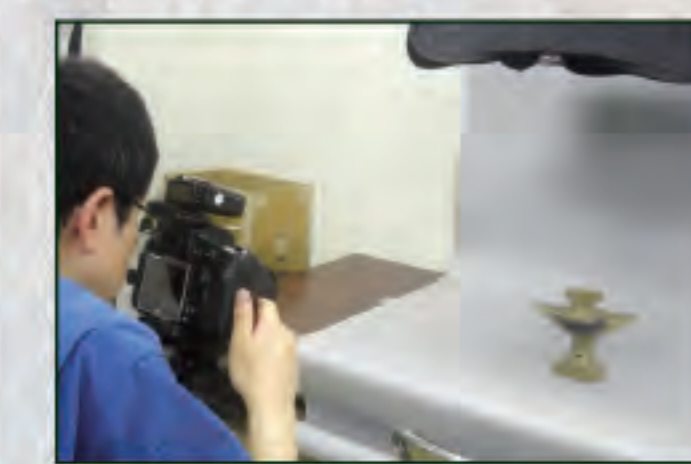
石器接合資料実測図
（熊本県北中島西原遺跡出土）



双口土器実測図
（鹿児島県上加世田遺跡出土）



双口土器展開写真



重要文化財の撮影



3D計測機器での遺物計測

報告書作成

調査・整理によって得られたデータや関連する史料をもとに、周辺遺跡との関係性を踏まえ作成します。調査についての所見はもとより、遺跡に関する寄稿論文も各時代別の専門職員が対応し、当社内で全ての原稿作成を行います。



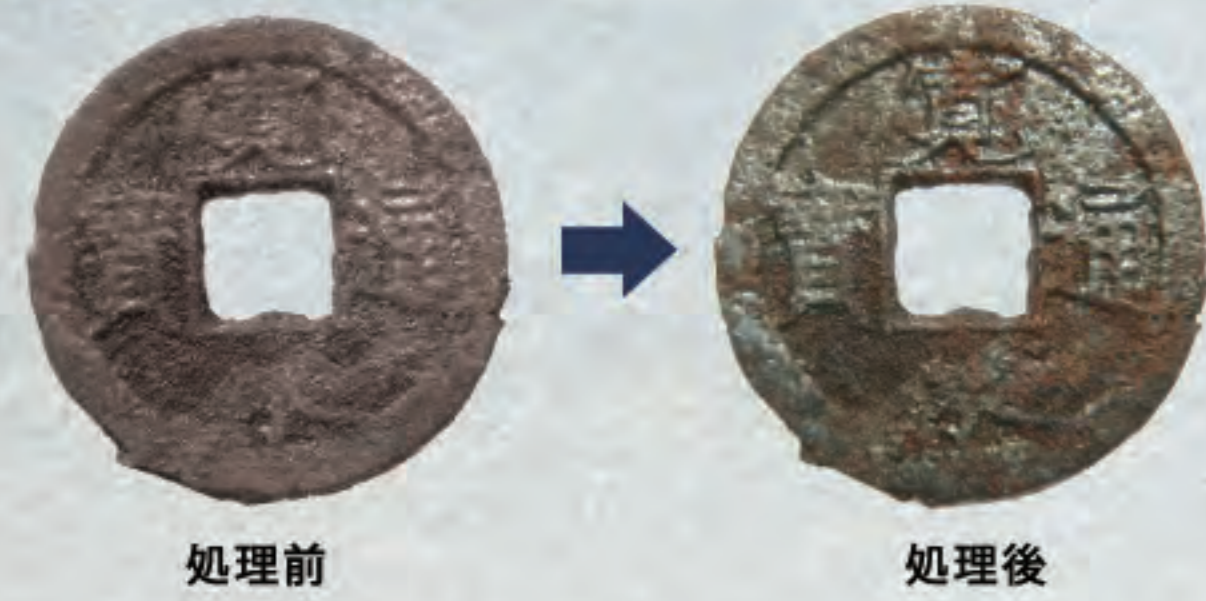
保存科学

Aquo-Siloxane Method ~アクオ・シロキサン法®~

珪素と有機基をつなぐシロキサン結合を主体とした物質(シランカップリング剤)で遺物の変化変質を防ぎます。熊本大学との合同研究を行っている独自の保存処理方法です。

金属製品

鉄製古銭



処理前

処理後

使用する薬剤によって形成される膜は非常に薄く、かつ強い撥水性を有します。

- 特徴
- ・温湿度管理が不要である
 - ・処理による質感の変化が少ない

石造物

一石五輪塔(熊本県上天草市)



処理前



処理薬剤塗布作業



処理後

- ・着生生物の繁殖を抑制する
- ・凍結による早期劣化の防止する

文化財修復・クリーニング

民俗資料など地域が所有する貴重な文化財の修復を行います。対象物の材質的問題や劣化過程に留意し、文化財的価値を守ります。



火縄銃 処理剤塗布作業

処理前

火縄銃錆取り・保存処理(熊本県芦北町)



処理後

火蓋

巢口

理化学分析

博士号取得者が理化学の分野から文化財を強力にサポートします。

石材分析

鉱物学的見地から石材の種類を特定します。肉眼・拡大鏡観察を基本とし、必要に応じて実体顕微鏡や偏光顕微鏡を用いた鉱物鑑定をすすめ、詳細に分析します。

土壌分析

堆積物(土壌・地層)の堆積状況の観察の他、堆積物を採取し、詳しく分析します。また、地質図をもとに産地を検証し、当時の歴史的背景と流通などを調査します。

蛍光X線分析

金属製品における劣化状態など、外見では判断がつかない遺物は蛍光X線分析で状態及び元素組成を分析します。



Leica S9 i

〈深い焦点深度と4K解像度カメラを搭載した実体顕微鏡。専用アプリケーションにより高画質な拡大像を遠隔地でも共有・保存が可能〉



双眼実体顕微鏡を用いた鉱物結晶の観察

史跡の整備・保存活用

貴重な歴史遺産・文化遺産を文化財として守り、未来へと伝えていきます。地域や文化財の特性を活かしながら、効果的に保存・活用のための整備ができるようサポートします。

事前調査

整備に必要な地域の概要・史跡の現状・地域の現状・先行計画・法令等を十分に把握し、状況に応じて測量・調査等を新たに行った上で作業を進めます。

計画

史跡の価値や構成要素の整理、保存・活用・整備の方法の提案、図表や整備イメージ図の作成、計画書の構成・レイアウト等、計画(保存活用計画、文化財保存活用地域計画等)の策定を補助します。

設計

全国の事例を元に、最先端技術等の応用も視野に入れる形で、基本構想・整備基本計画・整備基本設計・整備実施設計等を行います。

現地写真を元に整備の完成状況のイメージ図を作成し、わかりやすく提案します。



完成状況イメージ写真
(鹿児島県鶴丸城跡)

報告書

調査設計に基づき整備報告書を作成します。ご要望に応じて、文章の作成、図面の編集、レイアウト・校正等が可能です。



萩原旧堤防跡出土石垣移設復元
(八代市立博物館未来の森ミュージアム)

施工監理

専門性を伴う史跡整備の工事監理を行います。



構造展示物の整備(鹿児島県鶴丸城跡)

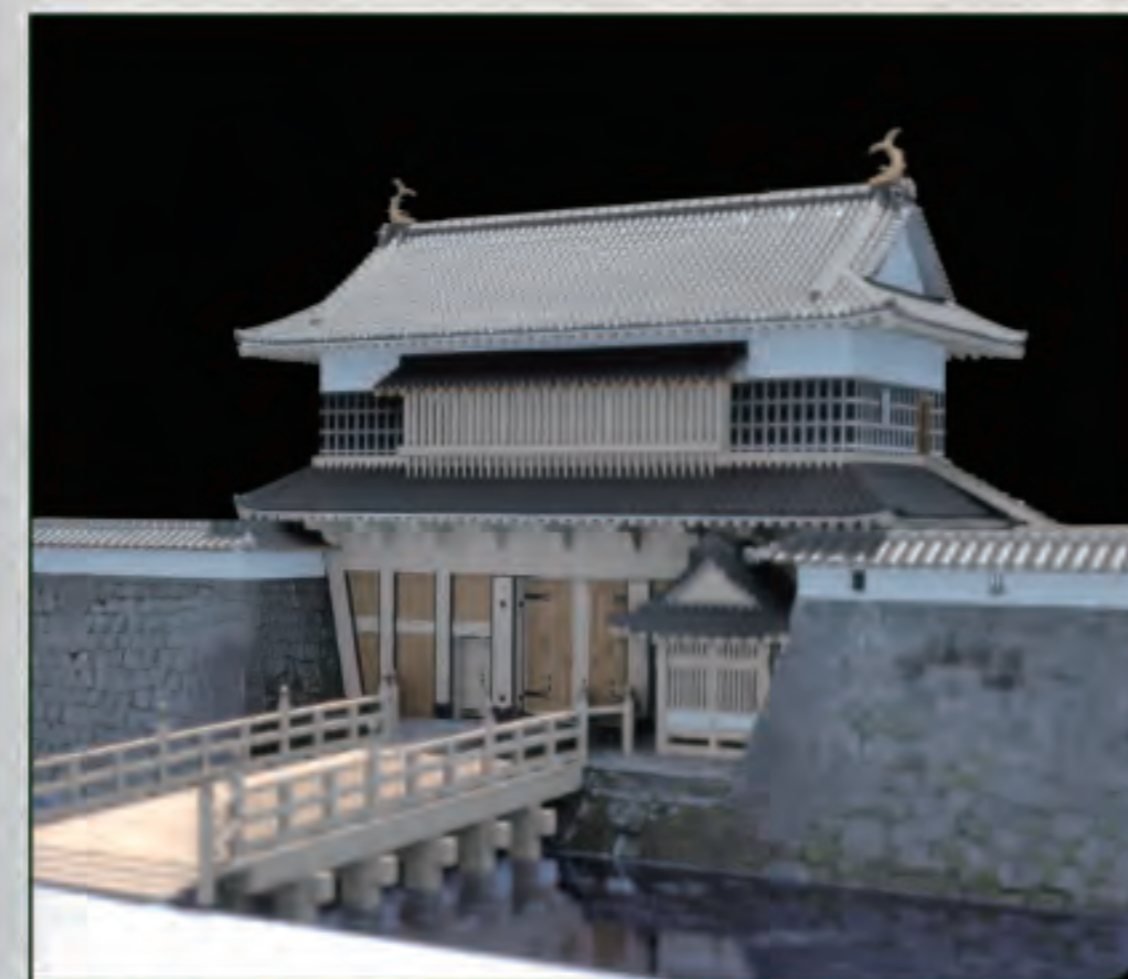
その他 さらなる活用とコンテンツ制作

史跡整備に伴う委員会の開催補助(資料作成、議事録作成等)や、地域との協働に必要なワークショップの開催補助(ワークショップ用資料の作成、アンケート、情報の整理・解析等)をします。
史跡の解説に効果的な石垣や土堀等の構造展示物、多言語対応・全地球カメラ・復元3DモデルによるVR動画の作成等も行います。

佐敷城(熊本県芦北町)

国指定

実施計画から保存整備まで一貫した城郭整備を行いました。発掘調査は平成5年から実施され、発掘調査補助や出土遺物の整理および実測を行いました。平成8年にはこれらの成果をもとに整備工事の実施計画を作成し、翌年整備工事を実施しました。この整備後に国指定を受けた数少ない史跡です。



復元3Dモデル(鹿児島県鶴丸城跡御楼門)

人吉城(熊本县人吉市)

国指定

昭和36年に国の史跡指定を受けて以来、保存修理事業を中心に長期的に整備を進めています。平成20年に曲輪整備工事実施設計と実施計画に携わり、平成22年には検討委員会資料作成や、発掘調査遺構実測、保存管理計画書図面作成などを通じて、この長期的かつ大規模な城郭保存整備を支援しました。



阿高・黒橋貝塚(熊本市)

国指定

平成16年に行った貝塚跡公園の整備設計は、貝塚の歴史的重要性を分かりやすく見せると同時に周辺への環境にも配慮しました。歴史的意義を有している土地を有効活用できるように考え、普通の公園設計ではなく、過去の遺産を未来へ残すと共に地元の憩いの場となるように設計しました。

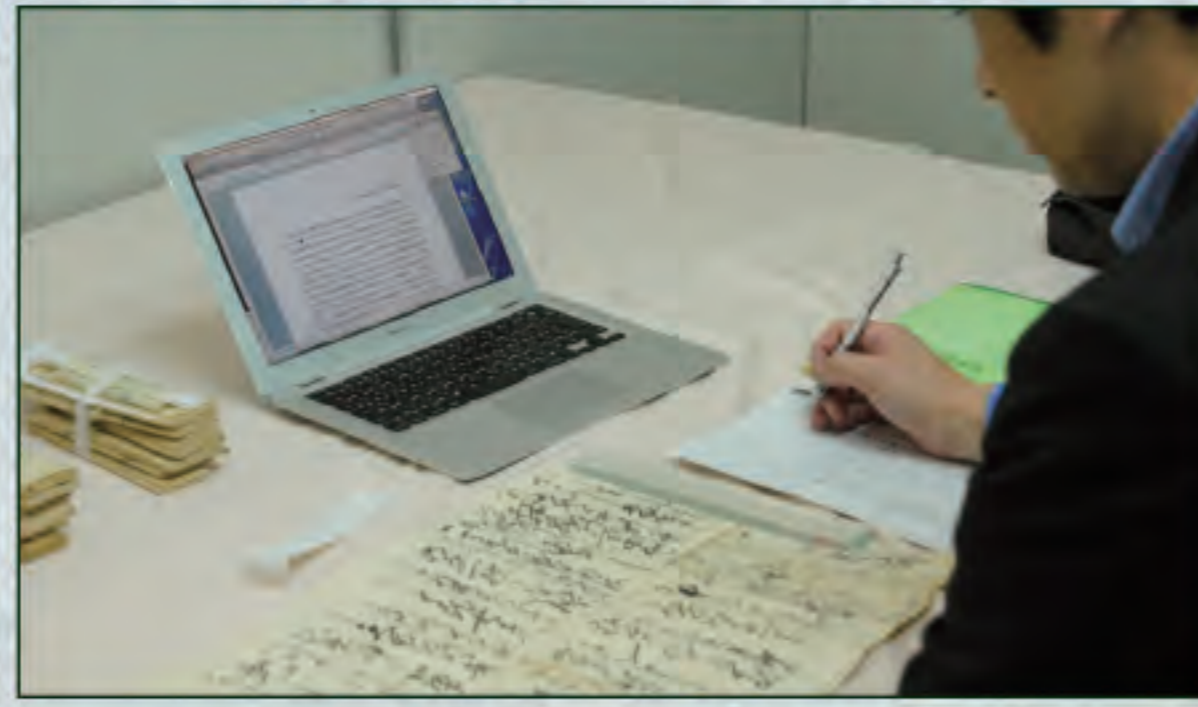


史料調査

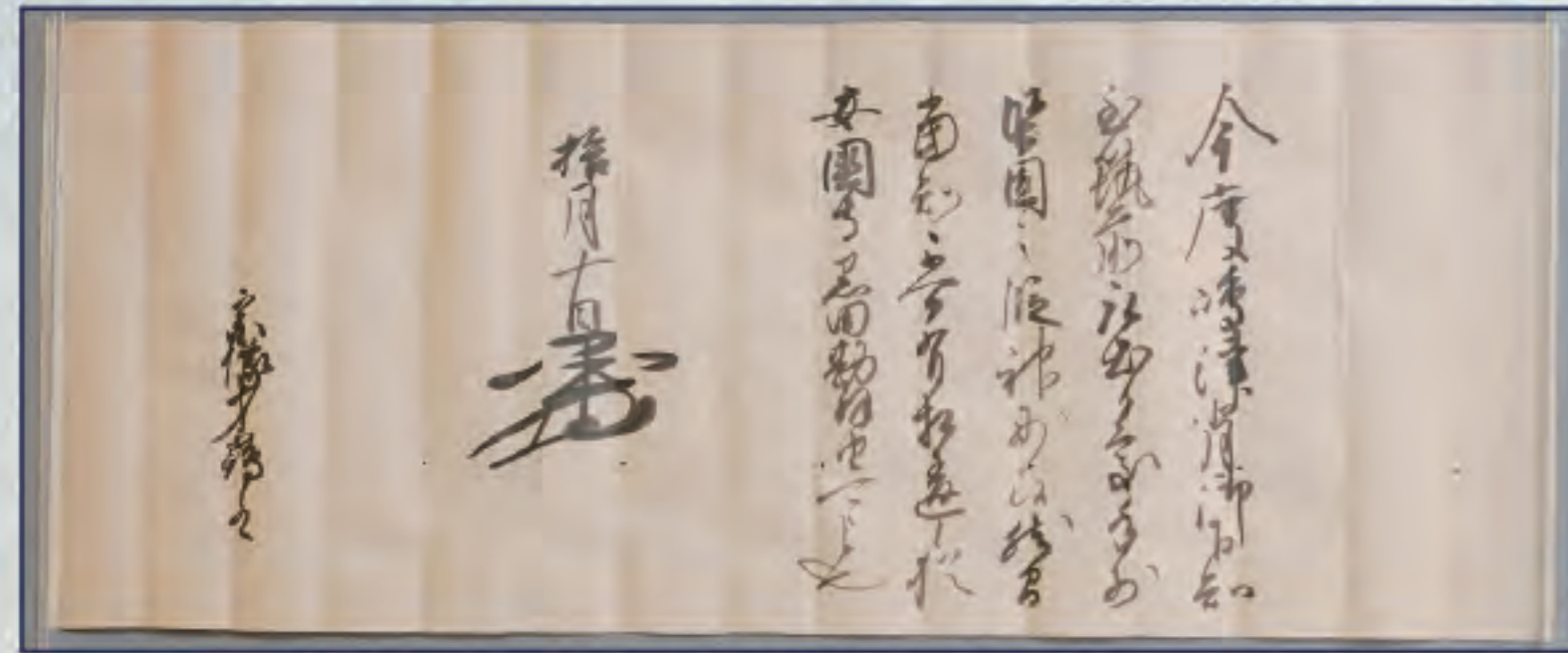
博士号を取得し大学等での講義経験も豊富な専門の調査員により史料を調査します。

古文書の調査・解読

重要文書の調査・発見をはじめ、文書群(古文書のまとまり)の概要調査を行います。史料の保管状態、おおよその点数、年代や内容などを調査票にまとめて目録を作成します。また、個々の文書を撮影し記録保存します。特筆すべき文書については解読し、それを目録に掲載します。



九州大学と史料の共同研究も行っています。



〈天正14(1586)年〉

豊臣秀吉判物



〈天正15(1587)年〉

豊臣秀吉朱印状

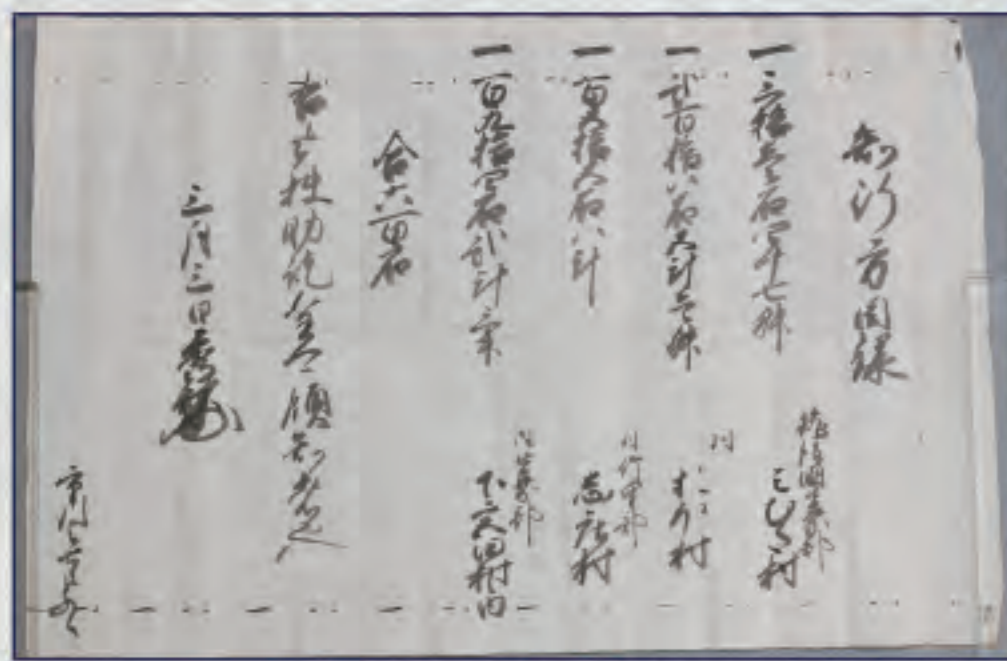
九文研で調査・発見した豊臣秀吉関係文書

肥後宗像家文書〈熊本県多良木町所蔵〉

史料管理対策の提案

文化財IPMコーディネータの資格者により、文化財にとって有害になる生物や菌に注意を払い、温湿度などの空気環境の整備、掃除・整理整頓などの日常の衛生管理、薬剤処理を行う場合の最適な薬剤選びなど、所蔵場所の環境に応じて適切な管理対策を提案します。

小早川秀秋知行方目録



〈慶長4(1599)年〉

民俗・伝統工芸調査

有形の民俗資料や祭り・踊りなどの伝統芸能(無形民俗文化財)、伝統的工芸品について、歴史的背景や作成手法をフィールドワークや文献史料から調査します。

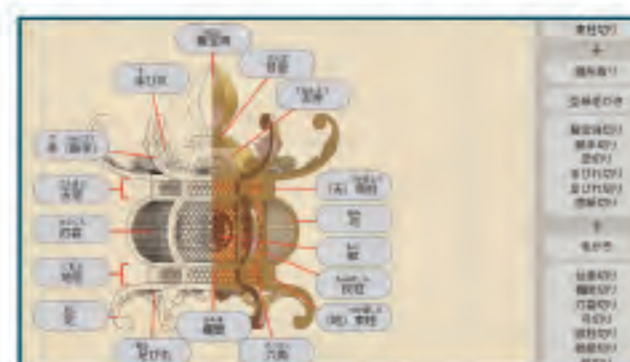
有形資料の調査をはじめ、地域住民の方からの聞き取り調査によって、地域独自に使用されていた地名や屋号、生活など、古い時代の暮らしの復元を行います。これらの調査で得られた情報に基づいて、報告書や工芸品を紹介する冊子等を作成します。

山鹿灯籠

経済産業省の産業構造審議会において、専門委員として参加し、平成25年に国の伝統的工芸品指定に貢献しました。



雉子車〈熊本県人吉市〉



山鹿灯籠振興会 解説書

「山鹿灯籠 - 伝統と革新 -」

当社作成の山鹿灯籠の民俗的・歴史的背景、灯籠の制作過程や図解を収録したフルカラーの小冊子です。



寺社・墓所調査

寺社に所在する建造物、美術工芸品、墓所の石造物などを調査します。

寺社所蔵品調査

寺社に所蔵されている美術工芸品(彫刻・絵画等)・古文書・民俗資料(位牌・版木)などの文化財を対象として、作成された時代の判定、銘文などの解読、画像の記録等を行います。

高精細カメラによる撮影

通常の撮影で文字が判読できない場合は、最新の赤外線カメラを使用することで、文化財・美術品などの顔料解析、不鮮明な文字等を解読することが可能になります。これまでに、高知県・香川県の四国八十八箇所の札所寺院における古文書・位牌・棟札・版木・彫刻・絵画などの調査、神社での霊璽調査などを実施しています。

通常の可視光線領域の高精細撮影にも対応します。



所蔵品調査〈高知県金剛頂寺〉



FUJIFILM GFX100 IR バージョン

〈対角 55mm の大型センサーを搭載した 1 億画素の高解像度赤外線対応カメラ〉 (左: 通常撮影 右: 赤外線撮影※) ※FUJIFILM GFX100 IR バージョンによる撮影



墓所調査

墓域を含めた周辺地形のほか、墓所内に所在する宝篋印塔型・五輪塔型・石廟型などの墓碑、亀趺碑などの墓誌、石灯笼等の石造物調査と文献調査を行います。

墓所調査例

- ・熊本藩主細川家墓所(妙解寺跡)〈熊本市〉
- ・熊本藩主細川家墓所(泰勝寺跡)〈熊本市〉
- ・鹿児島藩主島津家墓所〈鹿児島市〉
- ・越前(重富)島津家墓所(長年寺)〈鹿児島県 始良市〉
- ・加治木島津家墓所(能仁寺)〈鹿児島県 始良市〉
- ・土佐藩主山内家墓所〈高知市〉

城郭調査

発掘調査、石垣の調査、石材調査、文献・絵図史料の調査等を行います。

石垣調査

石垣の積み方や石材の加工方法、矢穴や刻印の有無、石質などを調査し、築城年代の比定や石材産地の同定などを行います。また、石垣の特徴を詳細に捉えた実測図を作成します。これまで多くの織豊系城郭などを調査しています。

石材調査

災害で崩落した石材や、修復のために石垣から解体した石材の寸法、加工痕・刻印の有無・損傷などを一石ずつ調査します。石垣復旧の際は石材調査で得られた情報が、石材を再利用するか交換するか判断材料の一つとなります。

古文書 絵図調査

城下町の変遷や修復履歴等を分析します。また、絵図と現在の地図を比較し、絵図に描かれた建造物の位置の特定や、まち歩き地図への転用作業等デジタル化業務も行います。

報告書

現地調査、及び古文書・絵図史料の調査で明らかになったことを踏まえ、学問的・総合的な見地から報告書を作成します。

発掘調査

令和元年、八代市に所在する織豊系城郭である麦島城跡を発掘調査し、二の丸の石垣を検出しました。



石垣の石材調査〈熊本城〉

社会貢献

講演会・企画展示



九州文化財研究所創設15周年記念
「加藤清正の端城と文化遺産の活用」

熊本城築城400年によせて-
服部英雄氏(九州大学大学院教授)の基調講演を基に、加藤清正が端城を築いた7つの地域、その文化財担当者・文化活動グループの方々とパネルディスカッションを行いました。魅力あふれる地域の文化財をいかに提示するか、城跡・地域遺産を活用した地域おこしについて熱い議論が交わされました。

参加者：400名

【講演会とシンポジウム】 熊本県民交流館パレアにて 平成20年8月開催



服部英雄氏(基調講演の様子)



地域の施設を活用した、新史料による企画展示
「新史料による「天草・島原の乱」-その時、徳川幕府はどう考えたか-」

天草・島原の乱について、九文研学芸員によって新たな史料が発見されました。これまで不明瞭であった幕府軍の動きが克明に記録された幕府軍司令官松平信綱などの自筆書状です。これらを紹介する企画展示を開催し、あわせて、当時の幕府軍の緊迫した状況を伝える新史料を元に、情報伝達体制を紐解く内容の講演を行いました。地域の方だけでなく、遠くは関東・関西方面からも来場いただきました。

【企画展示】 熊本市塚原歴史民俗資料館にて 平成21年2月~3月開催



企画展示図録



ノーベル物理学賞受賞者 益川敏英 博士と語りあう
「自然をより深く学ぼう」

九文研が事務局として野外での自然観察を基本に活動している菊池川自然塾。その趣旨に益川博士が賛同。ボランティアでご参加いただくこととなり来熊が実現しました。地域高校生による司会のもと、益川博士の基調講演のほか、共催の熊本大学学長や熊本県知事、大阪大学名誉教授の講演やパネルディスカッションが行われ、来場した青少年との活発な質疑応答がありました。

共催：熊本大学 参加者：700名

【講演会とシンポジウム】 ホテル熊本テルサにて 平成22年3月開催



登壇の益川博士



九州文化財研究所創設20周年記念
「加藤清正の実像と英雄像の受容」
-生誕450周年記念によせて-

加藤清正の実像にせまる講演会を開催

山本博文氏(東京大学史料編纂所教授)の基調講演をはじめ、大阪大学名誉教授、熊本地名研究会副会長、熊本大学教授らによるパネルディスカッションを行いました。

参加者：400名

【講演会とシンポジウム】 くまもと県民交流館パレアにて 平成25年4月開催



パネラー：
東京大学史料編纂所教授 山本 博文氏
大阪大学名誉教授 猪飼 隆明氏
熊本地名研究会副会長 佐藤 伸二氏
熊本大学教授 吉村 豊雄氏

コーディネーター：
九州文化財研究所 研究部長 花岡 興史



九州文化財研究所創設25周年記念
「知られざる熊本の明治維新-西南戦争前夜-」

熊本の視点から明治維新を考える講演会

猪飼隆明氏(大阪大学名誉教授)の基調講演の他、パネルディスカッションでは熊本大学・佐賀大学の先生方にご参加いただき熱い議論が繰り広げられました。会場人数を大幅に超える来場申し込みがあり、大盛況の講演会となりました。

参加者：350名

【講演会とシンポジウム】 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)にて 平成31年2月開催



パネラー：
大阪大学名誉教授 猪飼 隆明氏
佐賀大学特命教授 青木 歳幸氏
熊本大学准教授 三澤 純氏
熊本大学永青文庫研究センター准教授 今村 直樹氏

コーディネーター：
九州文化財研究所 主任調査研究員 井上 隆明

文化財を調査・記録するだけでなく広く知らせ活用することで後世へと繋げます。文化財を親しみやすくより身近なものに。

編集・出版物

図録 ▶新史料による「天草・島原の乱」
-その時、徳川幕府はどう考えたか-

「(天草)四郎をいけどりに」と指示した幕府軍総司令官松平信綱書状など、未公開一次史料を多数掲載。また、柳生宗矩・細川忠興をして「当代随一」と言わしめた実力をもっていた雲林院弥四郎(うじ・やしろ)を、柳生宗矩の書状、塚原ト伝の伝授書をはじめとする一次史料で紹介しています。



台付舟形土器
(重要文化財・令和3年撮影)

▶『新訂九州縄文土器の研究』

小林久雄 著
雄山閣 出版

九州縄文土器の編年を確立した、小林久雄先生の偉業の集大成で、多くの研究者から再刊が望まれていました。『九州縄文土器の研究』から研究論文を中心に、九文研が事務局として再編集しました。

入門書 ▶『石器の実測をしよう！』
-はじめて実測を試みるあなたへ-



実測初心者にとって大きなハードルとなる難解な表現を、イラストをふんだんに取り入れてわかりやすく解説した視覚にうったえる教科書。全く経験のない初心者や、実測を諦めかけていた人たちのための画期的入門書です。

観察は光45度!



入門書



「学界に資することを確信し、推薦するものである」
國學院大学名誉教授 小林達雄 氏 推薦

▶『土器の実測をしよう！』
-はじめて実測を試みるあなたへ 第2弾-

『石器の実測をしよう!』に続く第2弾。土器実測の入門書も、という多くの声により企画しました。理屈ではわかっていても実践するのが難しい土器実測を楽しく学べる入門書です。

株式会社 雄山閣より発売



研究活動

九文研では、共同研究や多岐にわたる様々な研究会を通し日々研鑽に努めています。



講師派遣



社内研究会

研究歴等
(個人実績を含む)

大学教授(元教授)
大学講師
国立高等講師
奈良県立橿原考古学研究所共同研究
九州大学共同研究
九州大学学術研究者
熊本大学共同研究
府省共通研究開発管理システム(e-Rad)登録研究者
滋賀県立琵琶湖博物館研究指導員
経済産業省専門委員
日本鉱物学会会員
バンドン地質博物館研究技術指導員
国際鉱物学会連合(IMA)会員
日本地質学会会員
日本文化財科学会会員
市町村文化財講座講師
市町村史執筆・編集委員
県・市・町調査指導
公益財団法人日本文化財保護協会会員
特定非営利活動法人ジョーモネスクジャパン会員

史学会会員
日本考古学協会会員
日本旧石器学会会員
日本歴史学会会員
日本史研究会会員
日本古文書学会会員
歴史学研究会会員
考古学研究会会員
女性史総合研究会会員
九州史学研究会会員
九州前方後円墳研究会会員
九州考古学会会員
肥後考古学会会員
熊本史学会編集委員・会員
南九州城郭研究会会員
鹿児島県考古学会会員
長崎県考古学会会員
雲備地方史研究会会員
広島史学研究会会員
洛北史学会会員

スタッフ
保有資格

博士・修士
学芸員
一級土木施工管理技師
二級土木施工管理技師
一級造園設計技師
測量士
埋蔵文化財調査士
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者
職長・安全衛生責任者
熱中症予防指導員
文化財IPMコーディネータ
文書情報管理士(上級)
準デジタルアーキビスト
国会議員政策担当秘書